

~1日目~

令和3年 **11月6日(土)** **14:00~15:30**

農産物の包装から考える SDGsが目指す社会における包装の役割

SDGsが目指す近未来における食品の ための包装の在り方を考える。

食品の「もったいない」を減らすために、包装はなくてはならないものです。一方、包装は環境に負荷をかける要因となりうることから、可能な限り負荷を小さくできる方法・材料を選択する必要があります。本講演では、2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）に照らしながら、食料の保障と環境の保護を両立するためには、近未来の食品包装はどうあるべきかといったことについて、農産物向けの包装事例を通して考えたいと思います。

共 催：公益社団法人 日本フードスペシャリスト協会

北澤 裕明先生



国立研究開発法人農業・食品産業技術
総合研究機構 食品研究部門
食品流通・安全研究領域 流通技術・
新用途開発グループ 上級研究員

~2日目~

令和3年 **11月7日(日)** **14:00~15:30**

都市型介護予防モデル 「松戸プロジェクト」の成果と今後に向けて

2017年より千葉大学予防医学センターと松戸市が連携し、「地域活動への参加で健康寿命を延ばす全国に先駆けた科学研究プロジェクト（松戸プロジェクト）」が始まりました。松戸プロジェクトでは、行政や事業者、管理栄養士等の専門職種の方などの支援を受けつつ、住民ボランティアが主体となって運営される地域の「サロン」等の集いの場を地域に増やすことで、参加した高齢者個人や、それが普及した地域の要介護認定率がどの程度抑制されるのかを明らかにすることを目的としています。

本講演会では、松戸プロジェクトの全容とこれまでの介護予防効果等の現状について解説いただく予定です。

後 援：一般社団法人 全国栄養士養成施設協会

塩谷 竜之介先生



千葉大学予防医学センター
特任研究員